

《担当者名》 川崎 ゆかり ykr17@hoku-iryo-u.ac.jp 谷本 真唯 木浪智佳子

【概要】

子どもの成長発達および特徴的な疾患の理解に基づき、疾患や治療によって起こる子どもと家族の心身および社会的影響を明らかにする。疾患を有した子どもとその家族に看護援助を提供するための基本的視点を学ぶ科目である。

【学修目標】

1. 事例を通して疾患、検査・治療が子どもと家族の日常生活に及ぼす影響を系統的に理解することができる。
2. 事例の子どもと家族に起こる事象を臨床判断モデルに沿って思考し、状況に応じた看護を実践できる。
3. 上記1, 2の思考と看護実践を省察し、事例の子どもと家族に起こる事象を予測し、新たな看護を検討できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 疾患、検査・治療が子どもと家族の日常生活に及ぼす影響	1. 演習のねらいと進め方、評価方法を理解する 2. 臨床判断モデルについて理解する 3. 事例と場面1を理解する 4. 事例と場面1の気づきをまとめる 5. 3の内容をグループで共有する	川崎・谷本・木浪
2	疾患、検査・治療が子どもと家族の日常生活に及ぼす影響	1. 現在の課題や状況を知るために必要な情報を理解する 2. 今まで得た情報から気づきに基づいて解釈する 3. 仮説を生成し、仮説の優先順位を検討する 4. 2・3の内容をグループで共有する	川崎・谷本・木浪
3	疾患、検査・治療が子どもと家族の日常生活に及ぼす影響	1. グループで共有した気づき・解釈を発表する 2. グループワークで発表内容を踏まえた振り返り、仮説を再検討する	川崎・谷本・木浪
4	子どもと家族の状況に応じた看護	1. 解釈を踏まえ、解決したい課題に対する反応を検討する	川崎・谷本・木浪
5	子どもと家族の状況に応じた看護	1. 反応をグループで共有する 2. グループで発表の準備をする	川崎・谷本・木浪
6	子どもと家族の状況に応じた看護	1. グループで準備した内容を発表する 2. 発表を参考に援助計画の追加・修正する	川崎・谷本・木浪
7	状況の変化が子どもと家族の日常生活に及ぼす影響	1. 場面2を理解する 2. 場面2の気づきをまとめる 3. グループで2.を共有する	川崎・谷本・木浪
8	状況の変化が子どもと家族の日常生活に及ぼす影響	1. 現在の課題や状況を知るために必要な情報を理解する 2. 今まで得た情報から気づきに基づいて解釈する 3. 仮説を生成し、仮説の優先順位を検討する 4. 2・3の内容をグループで共有する	川崎・谷本・木浪
9	状況の変化が子どもと家族の日常生活に及ぼす影響	1. グループで共有した気づき・解釈を発表する 2. グループワークで発表内容を踏まえた振り返り、仮説を再検討する	川崎・谷本・木浪

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
10	子どもと家族の状況の変化に応じた看護	1. 解釈を踏まえ、解決したい課題に対する援助計画を検討する	川崎・谷本・木浪
11	子どもと家族の状況の変化に応じた看護	1. 援助計画をグループで共有する	川崎・谷本・木浪
12	看護実践，省察と新たな看護の検討	1. ロールプレイの準備をする	川崎・谷本・木浪
13	看護実践，省察と新たな看護の検討	1. ロールプレイを実施する 2. ロールプレイ実施後に行為について省察する	川崎・谷本・木浪
14	看護実践，省察と新たな看護の検討	1. ロールプレイで振り返りをグループで共有する 2. 共有した省察の内容を発表する	川崎・谷本・木浪
15	演習のまとめ、評価	1. 事例を踏まえた学びを共有する	川崎・谷本・木浪

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

個人課題60%

グループ課題と発表30%

ロールプレイ10%

詳細は授業初回に提示する。提出課題の内容が不十分な場合および未提出の場合は減点対象とする。

【教科書】

1. 西 基：New Simple Step 小児科 第1 版 総合医学社 2020
 2. 二宮 啓子・今野 美紀：小児看護学 改訂第4版 南江堂 2022
 3. 今野 美紀・二宮 啓子：小児看護学 改訂第4版 南江堂 2022
- 教科書1～3は2学年からのものを引き続き使用

【参考書】

事例ごとに提示する

【備考】

- ・講義日程の詳細は、初回のオリエンテーション時に提示する。出席はGoogle formで管理する。
- ・12・13回のロールプレイの時には、ユニフォーム，ナースシューズ着用のこと。

【学修の準備】

1. 各回の課題に取り組む準備として、教科書および2年次に学修した授業資料を読んでおく（予習30分）。
2. 授業の振り返りを行い、内容の要点を見直し提出課題をまとめる（復習30分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2. 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

川崎ゆかり（看護師），谷本真唯（看護師），木浪智佳子（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

小児看護及び母子保健の実務経験を通じて得た知識・技術・態度を活用し、実践的な教育を行う。